



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート



長野市若穂 長野市滑空場

綿内、川田、保科の三村が合併、各村の頭文字から命名された若穂。
この若穂の千曲川河川敷に滑空場が出来たのは昭和49年のこと。
今では屋島橋上空をグライダーが飛ぶ光景は、長野市の名物になっています。
離陸するグライダーを引っ張り上げるためのロープの長さは1000m程度。
ウインチで一気に巻き上げられると、機体は風のよう^{たこ}に急角度で上昇していき
ます。ロープが外れ大空を滑空する姿は、いかにも気持ちよさそうです。

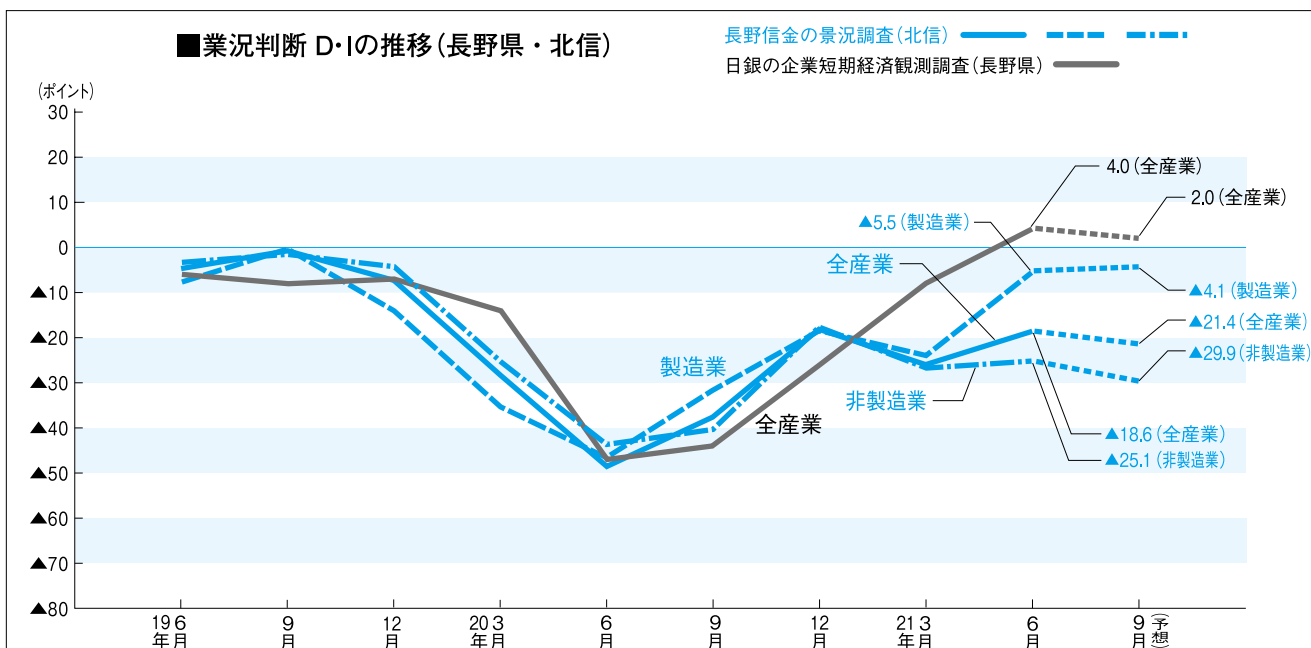
- 長野しんきん景況調査レポート…………… 2
- 企業アンケート 新型コロナウイルス感染症の影響Ⅳ ① …… 6
- 生活者アンケート 新型コロナウイルス感染症Ⅳ ① …… 9
- 北信濃 江戸時代の風景 (83) 善光寺の北東…………… 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー
にてご覧いただけます [長野信用金庫](#) [すかい](#)



景況調査レポート 概況 (第184回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2021年4～6月期…景気の現状 ◇2021年7～9月期…景気の見通し



D・I指数は、業況について「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値(四半期ごとに実施する景況アンケートに基づく)

全産業▲26 → ▲19 製造業・非製造業ともに改善

2021年4～6月期の業況判断D・Iは、全産業で7ポイント改善して▲19となりました。製造業は19ポイント改善の▲6、非製造業も2ポイント改善の▲25です。

2021年7～9月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、3ポイント悪化の▲21となりました。

◆北信地区の4月～6月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲26 → ▲19 (7ポイント改善)	→ ▲21	
製造業	▲24 → ▲6 (19ポイント改善)	→ ▲4	
非製造業	▲27 → ▲25 (2ポイント悪化)	→ ▲30	

非製造業▲27 → ▲25 サービス業は悪化

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が+2(前期比▲8ポイント)、卸小売業が▲31(同▲38ポイント)、

サービス業が▲60(同▲42ポイント)となり、サービス業が悪化しています。

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲27 → ▲25 (2ポイント改善)	→ ▲30	
建設業	▲8 → +2 (10ポイント改善)	→ ▲5	
卸小売業	▲38 → ▲31 (7ポイント改善)	→ ▲41	
サービス業	▲42 → ▲60 (18ポイント悪化)	→ ▲59	

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」―「減少」)	収益判断D・I(「増益」―「減益」)
	前期 今期	前期 今期
全産業	▲28 → ▲10(改善)	▲25 → ▲14(改善)
製造業	▲17 → ▲10(改善)	▲14 → +3(改善)
非製造業	▲33 → ▲19(改善)	▲30 → ▲23(改善)

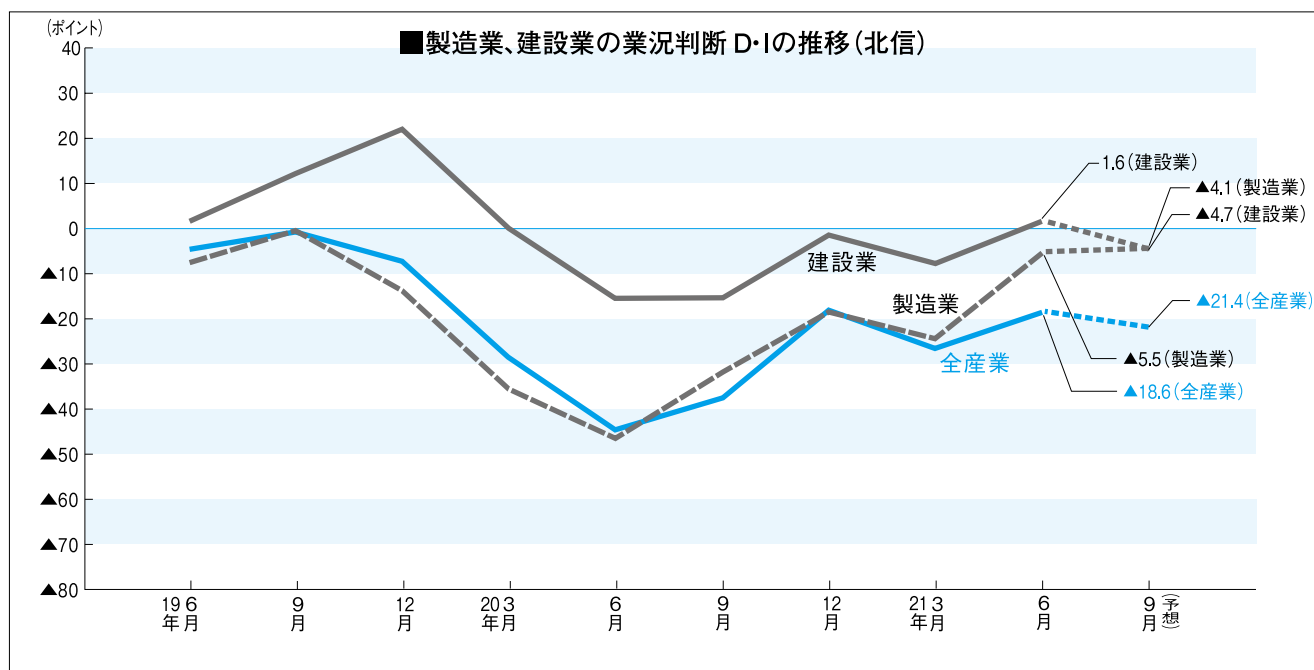
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	2020年9月	12月	2021年3月	6月	9月(予想)
全産業	▲37.6	▲18.1	▲26.0	▲18.6	▲21.4
製造業	▲31.9	▲18.5	▲24.0	▲5.5	▲4.1
非製造業	▲40.3	▲17.9	▲26.8	▲25.1	▲29.9

[調査要領]

●調査実施……2021年6月
●調査対象企業(回収)
製造業……73社
建設業……64社
卸小売業……43社
サービス業……42社

合計……222社
●回収率……85.7%
●従業員規模
30人未満……75.7%
●分析…D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

19期改善して▲6に、来期は改善の予想

製造業の4～6月期の業況判断D・Iは▲6で、前期(▲24)に比べ18期改善となりました。7～9月期は今期より2期改善の▲4の予想です。

	(前期)	1～3月期	▲24
◆業況判断D・I	(今期)	4～6月期	▲6
	(来期)	7～9月期	▲4(予想)

◇業種別業況判断D・I

改 善	食料品・電気機械・自動車部品・精密機械
悪 化	金属加工・一般機械

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+2 (17期改善)

「増益」割合 前期 21% → 27% (6期増加)

「減益」割合 前期 36% → 25% (11期減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 30% → 45% (15期増加)
「収支トントン」	前期 47% → 34% (13期減少)
「赤字」	前期 23% → 21% (2期減少)

企業からのコメント

- ★中国産そば粉の値上がりの影響が、業界全体に広がっている。また、コロナの影響か、包装用フィルム資材なども不足し始めている。(乾そば)
- ★甘酒の需要が一時期より低下しているが、製造メーカーは各種のフレーバーを添加した製品を新しく販売して、回復を図っている。(醸造業)
- ★原材料の一部で品薄状態や再三の値上げが続いており対応に苦慮している。(プラスチック製品)

建設業の景況

10期改善して+2に、来期は悪化の予想

建設業の4～6月期の業況判断D・Iは+2で、前回(▲8)に比べ10期改善しています。7～9月期は今期より7期悪化の▲5の予想です。

	(前期)	1～3月期	▲8
◆業況判断D・I	(今期)	4～6月期	+2
	(来期)	7～9月期	▲5(予想)

◇業種別	総合建設	前期 +27 → +56 (29期改善)
	土木工事	前期 +20 → ±0 (20期悪化)
	建 築	前期 ▲26 → +4 (30期改善)
	各種設備	前期 ▲18 → ▲36 (18期悪化)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲5 (14期改善)

「増益」割合 前期 16% → 16% (横ばい)

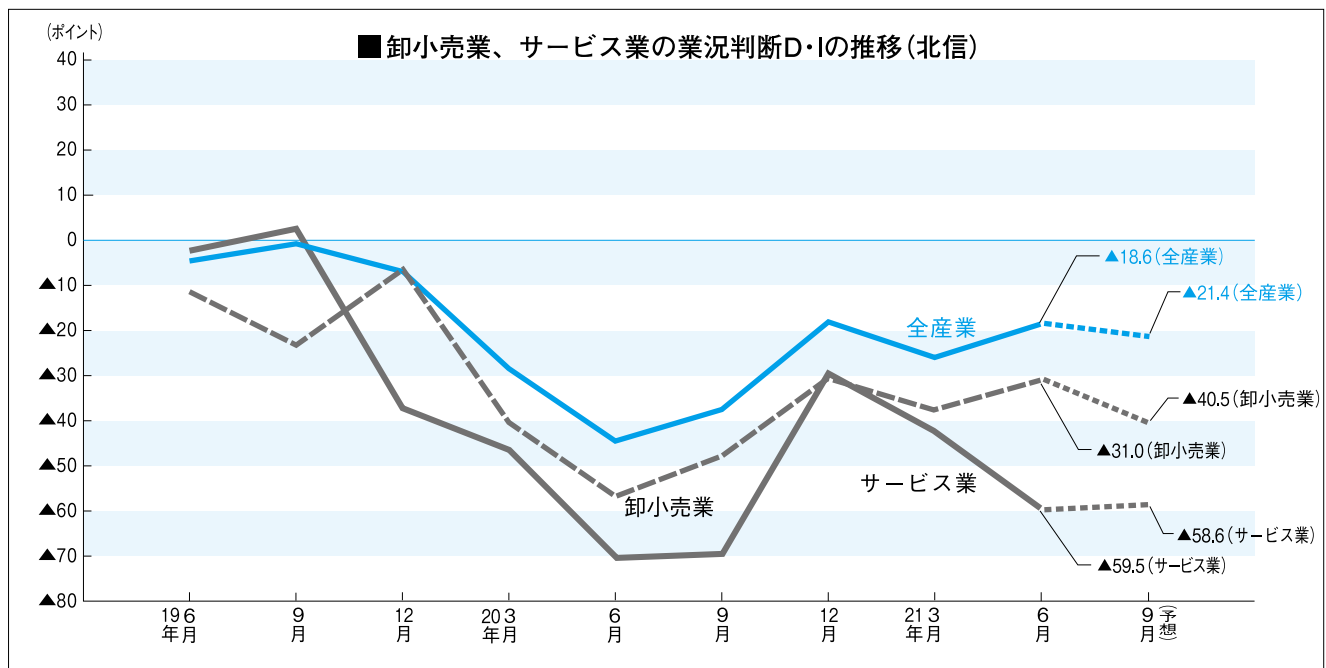
「減益」割合 前期 34% → 21% (13期減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 48% → 56% (8期増加)
「収支トントン」	前期 46% → 44% (2期減少)
「赤字」	前期 6% → 0% (6期減少)

企業からのコメント

- ★「ウッドショック」により、工事に支障が出始めている。いつまで続くかで、今後の状況が変わってくる。
- ★「米マツ」の入手が困難になっているため、集成材などへの代替えを実施している。(以上総合建設業)
- ☆★夏以降は、仕事量が増えているが、鋼材等の高騰と品不足から、来年以降の仕事は不透明な状況。(鉄骨鉄筋)



卸小売業の景況

業況は7㊦改善の▲31、来期は悪化の予想

卸小売業の4～6月期の業況判断D・Iは▲31で、前回（▲38）に比べ7㊦改善しました。7～9月期の業況判断D・Iは10㊦悪化の▲41の予想です。

◆業況判断D・I	（前期）	1～3月期	▲38
	（今期）	4～6月期	▲31
	（来期）	7～9月期	▲41（予想）

◇業種別	卸売業	前期	▲39 → ▲24（15㊦改善）
	小売業	前期	▲37 → ▲36（1㊦改善）

◆収益判断D・I（「増益」－「減益」）…▲17（23㊦改善）

「増益」割合	前期	11% → 16%（5㊦増加）
「減益」割合	前期	51% → 33%（18㊦減少）

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期	38% → 33%（5㊦減少）
「収支トントン」	前期	36% → 48%（12㊦増加）
「赤字」	前期	27% → 19%（8㊦減少）

企業からのコメント

- ★「ウッドショック」のため、輸入材の調達が困難になり、仕入れが停滞している。（建材卸）
- ☆★新車販売等は、従前の売上程度に回復しつつある。しかし半導体の不足から、ナビの設置が出来ずメーカーによっては納車に大幅な遅れがでている。（自動車販売・修理）
- ★観光関連業界は、先が見えない状況。今後、短期間に集中・徹底した対策が必要になる。（土産品小売）

サービス業の景況

18㊦悪化の▲60、来期も同等の予想

サービス業全体の4～6月期の業況判断D・Iは▲60で、前回（▲42）と比べ18㊦悪化しました。業種別では、外食が改善しています。7～9月期の業況判断D・I（予想）は1㊦改善の▲59です。

◆業況判断D・I	（前期）	1～3月期	▲42
	（今期）	4～6月期	▲60
	（来期）	7～9月期	▲59（予想）

◇業種別業況判断D・I

サ ー ビ ス	前期	± 0 → ▲50（50㊦悪化）
輸 送	前期	▲50 → ▲56（6㊦悪化）
タクシー	前期	▲100 → ▲100（横ばい）
運 輸	前期	▲29 → ▲33（4㊦悪化）
外 食	前期	▲63 → ▲50（13㊦改善）
観 光	前期	▲100 → ▲100（横ばい）
不 動 産	前期	± 0 → ▲38（38㊦悪化）

企業からのコメント

- ★「ウッドショック」と設備関係の半導体不足による影響が一般木造建築へでてきている。（不動産）
- ★早くワクチン接種が終わり、インバウンド需要が回復することを期待している。（タクシー）
- ☆★前期は「特積みトラック」が各社で一定の収益を上げていたが、燃料費の高騰から収支スキームは、今期厳しくなる見通しである。（トラック輸送）
- ★予約が入らず、売上の目処が立たない状況が続いている。（ホテル）

雇用情勢 4～6月期

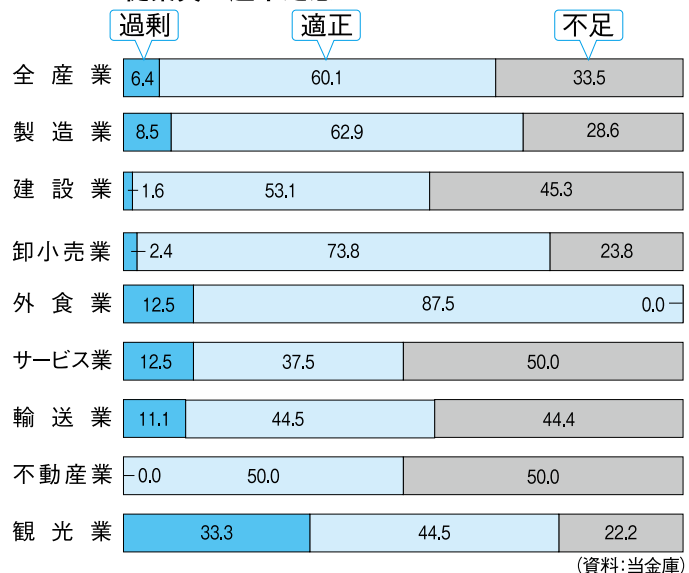
製造・外食・サービス・観光・輸送が改善

従業員の過不足感(「過剰」-「不足」)は、全産業で▲27となり、前回(▲25)より2ポイント改善しています。

雇用情勢 (「過剰」-「不足」)

業 種	前期(1～3月)	今期(4～6月)
全産業	▲24.9	▲27.1
製 造 業	▲21.8	▲20.1
建 設 業	▲37.1	▲43.7
卸小売業	▲11.4	▲21.4
外 食 業	±0	+12.5
サービス業	▲42.8	▲37.5
輸 送 業	▲40.0	▲33.3
不動産業	▲45.5	▲50.0
観 光 業	±0	+11.1

従業員の過不足感 (%)



資金繰り 4～6月期

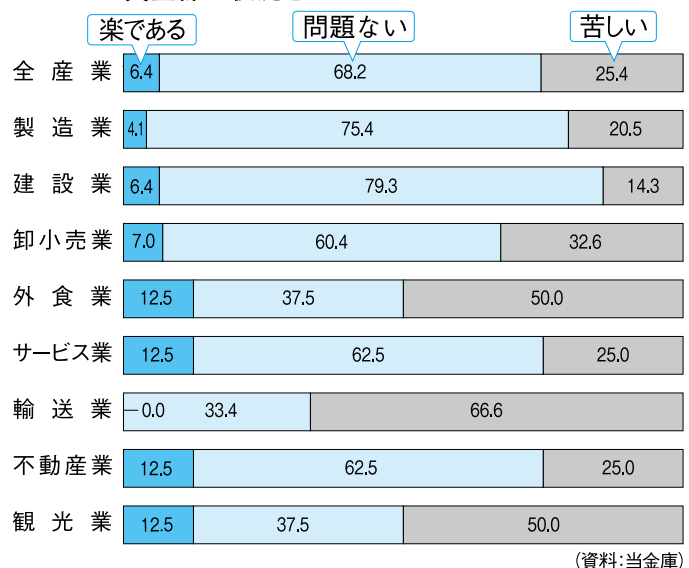
製造・建築・卸小売・サービスが改善

資金繰り状況判断(「楽である」-「苦しい」)は、全産業で▲19となり、前回(▲21)より2ポイント改善しています。

資金繰り (「楽である」-「苦しい」)

業 種	前期(1～3月)	今期(4～6月)	来期(7～9月)
全産業	▲21.4	▲19.0	▲23.9
製 造 業	▲19.7	▲16.4	▲20.9
建 設 業	▲15.4	▲7.9	▲16.1
卸小売業	▲29.5	▲25.6	▲30.9
外 食 業	▲37.5	▲37.5	▲37.5
サービス業	▲28.6	▲12.5	▲12.5
輸 送 業	▲40.0	▲66.6	▲55.5
不動産業	+9.1	▲12.5	▲25.0
観 光 業	▲33.3	▲37.5	▲37.5

資金繰り状況感 (%)



販売価格動向 4～6月期

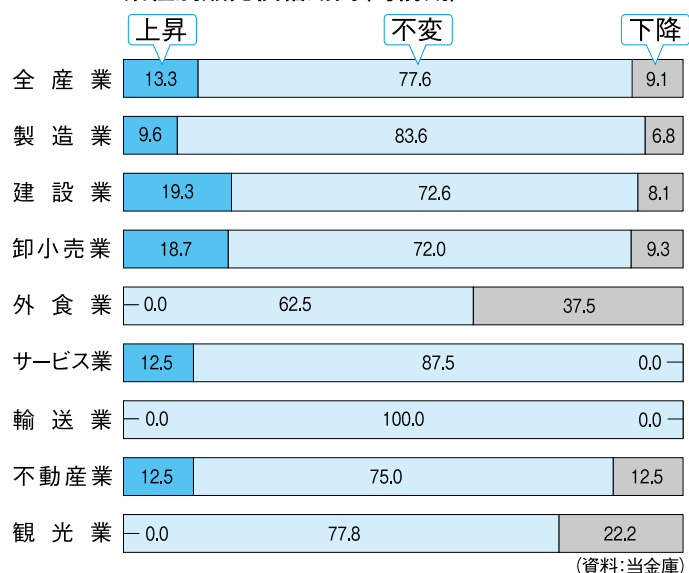
製造・建設・卸小売・サービス・輸送が上昇

販売価格動向(「上昇」-「下降」)は、全産業で+4となり、前回(▲5)に比べ9ポイント改善しています。

販売価格動向 (「上昇」-「下降」)

業 種	前期(1～3月)	今期(4～6月)	来期(7～9月)
全産業	▲4.9	+4.2	+7.5
製 造 業	+1.4	+2.8	+6.9
建 設 業	▲9.5	+11.2	+9.9
卸小売業	▲6.7	+9.4	+14.6
外 食 業	▲12.5	▲37.5	▲12.5
サービス業	▲14.3	+12.5	±0
輸 送 業	▲10.0	±0	±0
不動産業	+9.1	±0	±0
観 光 業	▲11.1	▲22.2	±0

業種別販売価格動向(対前期) (%)



実施している対策 「私的なイベント・飲み会等への参加自粛要請」 59%

BCP(業務継続計画)の策定 「策定している」15% 「策定していない」45%

実施している対策 トップ3は「私的なイベント・飲み会等への参加自粛要請」(59%)、「3密を避ける会議・ルールの徹底」(48%)、「出社時の体温測定」(43%)でした。

BCP(業務継続計画)の策定 「策定している」企業は15%で、「策定を予定・検討」は29%、「策定していない」は45%でした。

避ける会議・ルールの徹底」(48%)、「出社時の体温測定」(43%)でした。

ほかに「共用施設の消毒」(41%)、「従業員への旅行自粛要請」(36%)、「昼食時の飛沫対策ルールの徹底」(25%)、「ウイルス不活性化効果のある機器の設置」(17%)が2ケタとなっています。

従業員規模で見ると、30人以上は30人未満に比べて全ての項目で比率が上回り、中でも1～6位の上位の項目では15～29%上回っています。

実施している対策

「私的なイベント・飲み会等への参加自粛要請」59%
「3密を避ける会議・ルールの徹底」48%
「出社時の体温測定」43%

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためにあなたの会社では、「どんな対策を実施しているか」を聞きました。トップ3は、「私的なイベント・飲み会等への参加自粛要請」(59%)、「3密を

業種別

「私的なイベント・飲み会等への参加自粛要請」

建設 67%～製造 53%

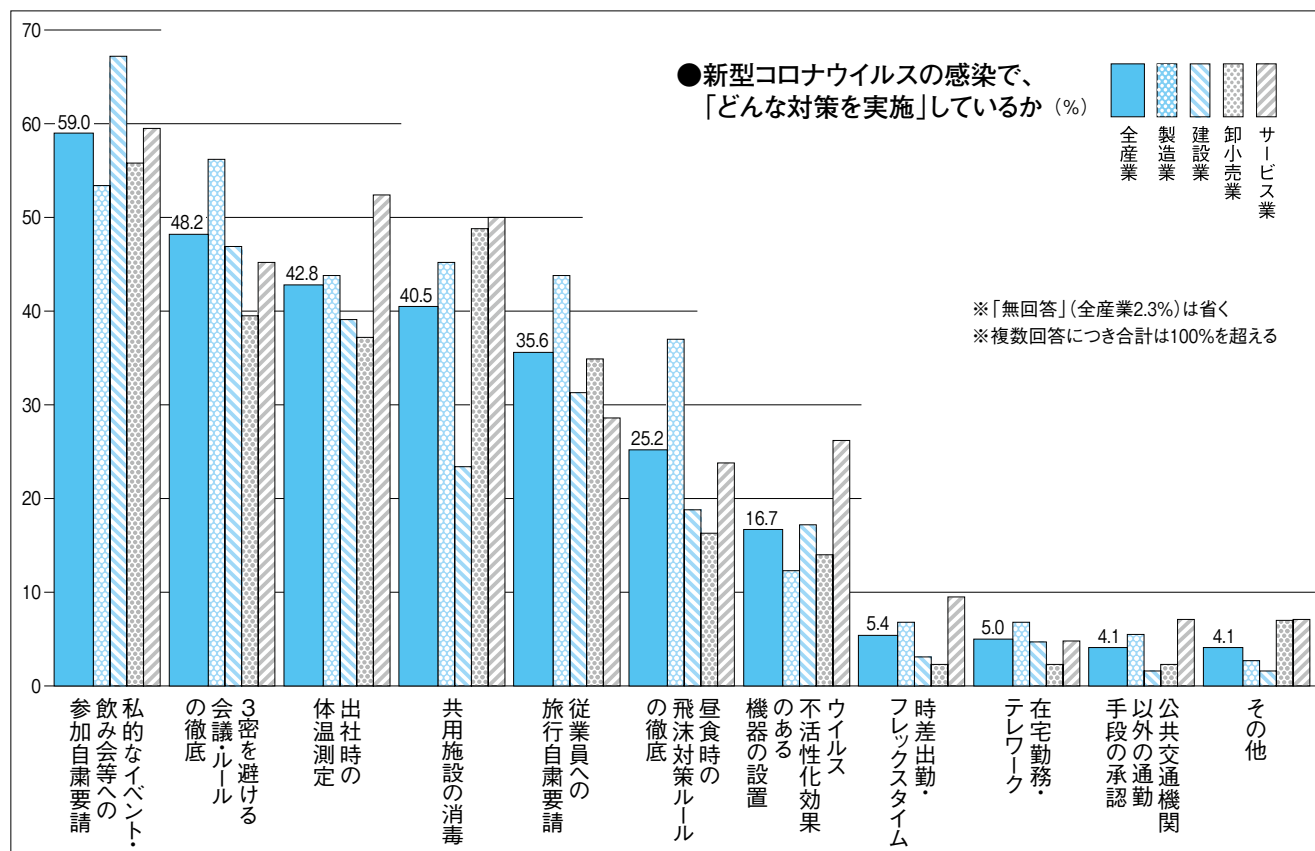
「3密を避ける会議・ルールの徹底」

製造 56%～卸小売 40%

「出社時の体温測定」

サービス 52%～卸小売 37%

製造業 「3密を避ける会議・ルールの徹底」(56



%)、「従業員への旅行自粛要請」(44%)、「昼食時の飛沫対策ルール徹底」(37%)、「在宅勤務・テレワーク」(7%)が他業種に比べて最も高く、他方「私的なイベント・飲み会等への参加自粛要請」(53%)、「ウイルス不活性化効果のある機器の設置」(12%)は他業種に比べて最も低くなりました。

建設業 「私的なイベント・飲み会等への参加自粛要請」(67%)が他業種に比べて最も高く、他方「共用施設の消毒」(23%)、「公共交通機関以外の通勤手段の承認」(2%)は他業種に比べて最も低くなりました。

卸小売業 「3密を避ける会議・ルールの徹底」(40%)、「出社時の体温測定」(37%)、「昼食時の飛沫対策ルール徹底」(16%)、「在宅勤務・テレワーク」(2%)、「時差出勤・フレックスタイム」(2%)が他業種に比べて最も低くなりました。

サービス業 「出社時の体温測定」(52%)、「共用施設の消毒」(50%)、「ウイルス不活性化効果のある機器の設置」(26%)、「時差出勤・フレックスタイム」(10%)、「公共交通機関以外の通勤手段の承認」(7%)が他業種に比べて最も高く、「従業員への旅行自粛要請」(29%)は他業種に比べて最も低くなりました。

●BCP(業務継続計画)の策定状況

「策定している」15%

「策定を予定・検討している」29%

「策定していない」45%

「わからない」10%

「陽性者が発生した時の対応など、新型コロナに対応するBCP(業務継続計画)を策定しているか」を聞きました。「策定している」は15%、「策定を予定・検討している」は29%、「策定していない」は45%、「わからない」は10%でした。

業種別

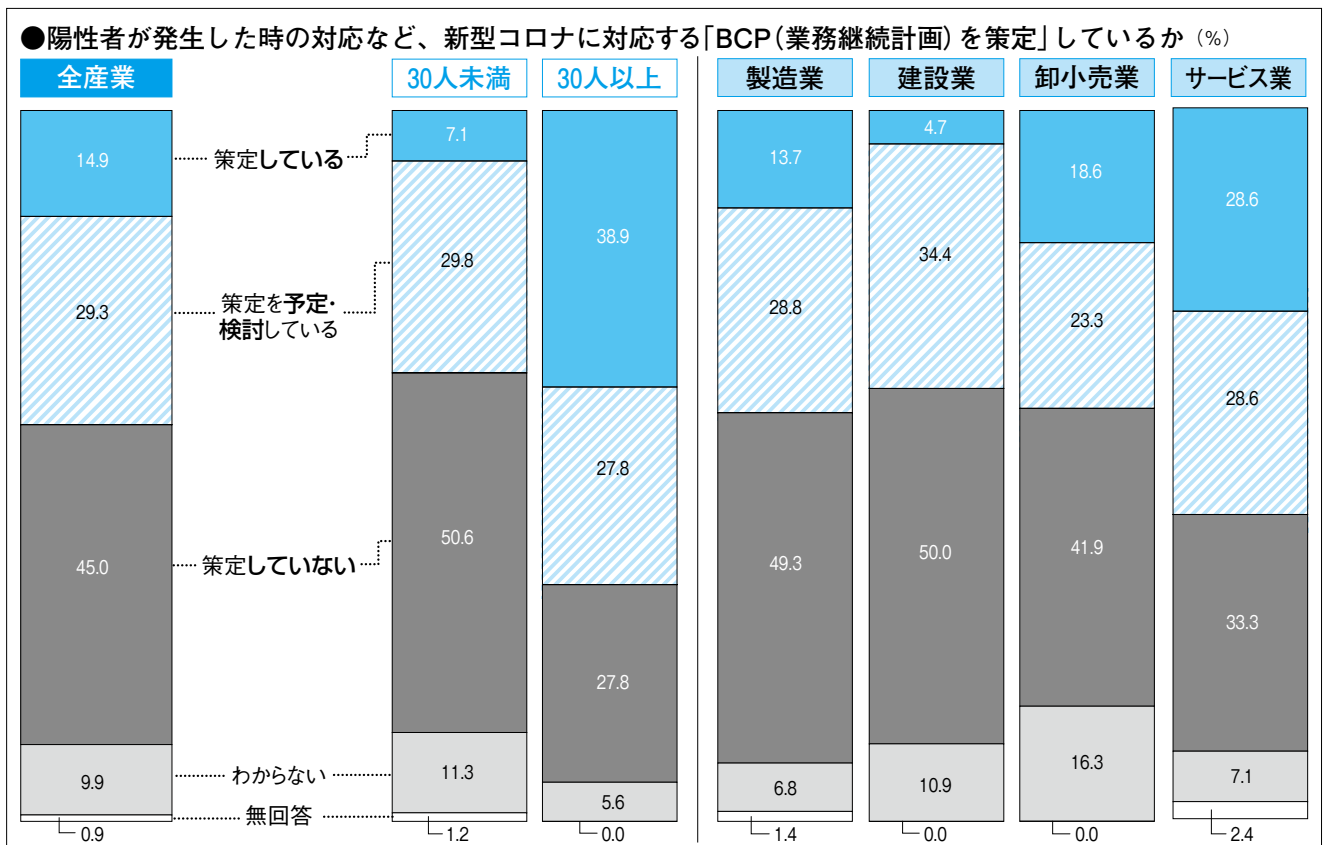
「策定している」…サービス 29%～建設 5%

「策定を予定・検討している」…建設 34%～卸小売 23%

「策定していない」…建設 50%～サービス 33%

製造業 「策定している」は14%、「策定を予定・検討している」は29%、「策定していない」は49%、「わからない」は7%でした。

建設業 「策定している」は4業種中最も低い5%、「策定を予定・検討している」は4業種中最も高い34%、「策定していない」も4業種中最も高い



50%、「わからない」は11%でした。

卸小売業 「策定している」は19%、「策定を予定・検討している」は4業種中最も低い23%、「策定していない」は42%、「わからない」は16%でした。

サービス業 「策定している」は4業種中最も高い29%、「策定を予定・検討している」は29%、「策定していない」は4業種中最も低い33%、「わからない」は7%でした。

◇次号は「コロナ感染症が今年度の採用に及ぼした

影響」と「長引くコロナ禍で、貴社ビジネスの将来に懸念していること」を予定

【調査要領】

実施期日：2021年6月上旬～中旬

実施要領：第184回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収222社（製造業73社、建設業64社、
卸小売業43社、サービス業42社）
うち従業員30人未満168社（75.7%）

「新型コロナウイルス感染症」に関する企業からのコメント

製造業

- ◇中元歳暮等のフォーマルギフト事業では、コロナ禍が「慣習離れ」の格好の機会になってしまい、今後、回復するかどうか不安が大きい。
- ◇現状は、誰が感染しても不思議ではないので、社員の自己管理を徹底している。（以上乾そば）
- ◇根本的な解決には、国民の相当数へのワクチン接種が不可欠なのは当初から分かっていたのにもかかわらず、結局オリンピックには間に合わず。
- ◇このままの状況が続くと経営の悪化につながり、新たな事業展開が必要になる。（以上そば製造）
- ◇社内で、コロナ感染症対策の独自のガイドラインを作成して、共有して実施している。（味噌・漬物）
- ◇ただちに、指定感染症5類に指定すべきではないかと考えます。（畜産用棚）
- ◇在宅勤務やテレワークも採用してはいるが、製造業のため、大半の従業員は出勤している。また協同作業による仕事が多く、今以上に感染防止には気をつける必要があるだろう。（精密機械）

建築業

- ◇建設現場での感染者発生による工事遅延等の損害賠償は、一企業では対応が不可能。
- ◇感染予防策の明確な基準を作成し、早期に通知して頂きたい。取引先との見解が相違する恐れがある。（以上総合建設業）
- ◇ワクチン接種の実施を加速させることが、終息への一番の近道ではないかと思う。
- ◇一人一人が基本に戻り、変異株に対しても恐れず感染対策を実践していく事が大事であると思います。
- ◇国民の自粛は限界にきていると思う。ワクチンの効果を期待するしかないが、影響の大きい企業への

の支援はもっと必要だと思う。（以上土木工事）

- ◇不要不急な会議などは実施しない。飲食・旅行など3密を避ける行動と、マスク・うがい・検温などの徹底が自主的な予防であり、最終的には、ワクチン接種が最大の対策になるだろう。（内装仕上工事）

卸小売業

- ◇これだけ国民が我慢をしているのに、変異株などが広まるのではどうしようもない。ワクチン接種に頼るしかないと思う。
- ◇社員に感染はさせたくない。そのために、いま以上の感染対策を徹底させていく。（以上青果卸）
- ◇国には、安心して暮らすことが出来る対策と、経済の対策にもっと力を入れてほしいと願っている。（建材卸）
- ◇一日も早くワクチン接種が出来るように、国と自治体との役割分担を明確にして、不安を取り除いて欲しい。（酒類）
- ◇国の対策は中途半端のものばかりが目立ち、その場限りで先が見えない。（土産品）

サービス業

- ◇コロナ禍は人災だと思っている。政府には、平等な政策を求めたい。
- ◇この状況がさらに続くと、いつ倒産してもおかしくない状況になっている。（以上タクシー）
- ◇今でできる限りの感染対策を、確実にやっていくことが大事である。（そば）
- ◇これ以上の感染対策はコスト面から厳しいのが現実、早期の終息を待つしかないと思う。（ホテル）
- ◇国や政治の問題ではなく、コロナに対する一般人の意識の薄さが一番の原因と思われる。
- ◇コロナ禍は特に飲食テナントへの影響が大きく、今後の先行きは不透明である。（以上不動産）

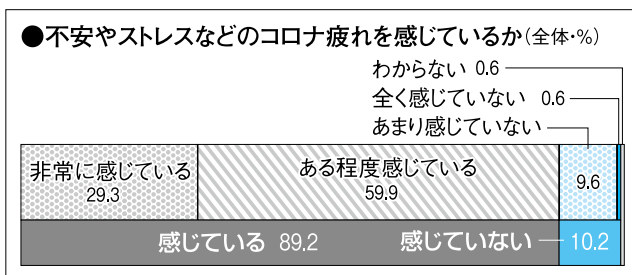
●コロナ疲れ…「**感じている**」割合 全体…89%/男性…88% 女性…91%
10～20代…85% 30～40代…90% 50代以上…91%

「コロナ禍での生活も1年半が過ぎましたが、新型コロナウイルスによる不安やストレスなどのコロナ疲れを感じているか」を聞きました。

「非常に感じている」(29%)と「ある程度感じている」(60%)を合わせた「感じている」は89%に、他方「あまり感じていない」(10%)と「全く感じていない」(1%)を合わせた「感じていない」は11%となりました。

男女別で見ると、男性の「感じている」は88%、女性は91%になっています。

世代別では、10～20代の「感じている」は85%、30～40代は90%、50代以上は91%になりました。



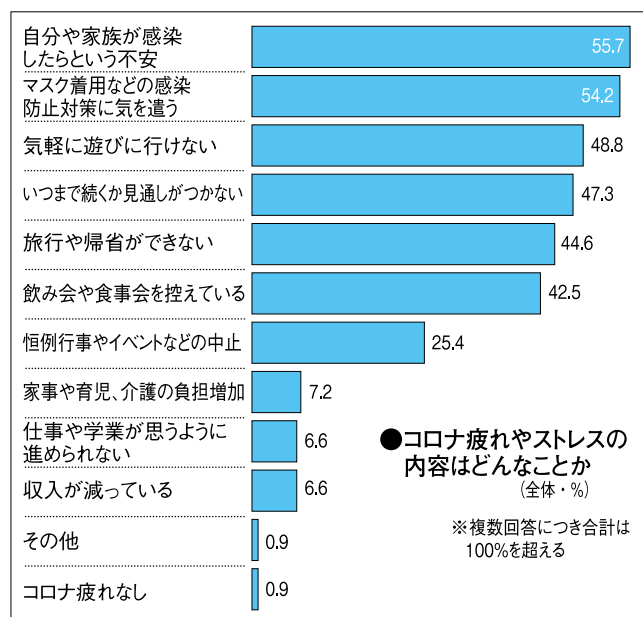
「自分や家族が感染したらという不安」56%

「コロナ疲れやストレスの内容はどんなことか」を聞きました。

1位は「自分や家族が感染したらという不安」(56%)、2位は「マスクなど感染防止対策」(54%)、3位は「気軽に遊びに行けない」(49%)でした。

男女別で見ると、男性のトップ3は、「マスクなど感染防止対策」「飲み会や食事を控える」「自分や家族の感染不安」ですが、女性のトップ3は「自分や家族の感染不安」「気軽に遊びに行けない」「いつまで続くか見通しがつかない」となりました。

世代別で見ると、10～20代のトップ3は「気軽に遊びに行けない」「旅行や帰省ができない」「マスクなど感染防止対策」、30～40代のトップ3は、「自分や家族の感染不安」「マスクなど感染防止対策」「飲み会や食事を控える」、50代以上のトップ3は、「マスクなど感染防止対策」「自分や家族の感染不安」「いつまで続くか見通しがつかない」で、共通項は「マスクなど感染防止対策」でした。ただし、1～6位までの項目は、男女別・世代別ともに共通項となっています。



【調査要領】

実施期日：2021年6月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

調査数：334人(男性184人・女性150人)

調査要領：アンケート用紙に記述(無記名)

「新型コロナウイルス感染症」に関する生活者からのコメント

◇国の対策は、効果を期待するというよりも「対策をしている」という形式的なものに感じる。

(20代男性)

◇個人レベルの対策はやり尽くしているので、ワクチン接種が急務。路上で群れて飲酒している人へは、もっと厳しい対応をしてもよいと思う。(30代女性)

◇外出や飲み会を禁止されても強行する人の気持ちがわからない。厳罰化してほしい。しかし、そもそも仕事は外出に含まれないのか？ (30代男性)

◇医療体制の拡充と、国産ワクチンの開発を希望する。

◇海外のように、強力な感染症対策が必要。ワクチン接種が国民全員に行き渡るまで見通しは立たないだろう。(以上40代男性)

◇病院で治療している医師や看護師の大変さを思えば、市民は多少我慢しなければならない。(50代女性)

◇ワクチン接種を若い世代に早く実施し、どう効果が出るか？効果が上がらない時は海外並みのロックダウンで強制的にコロナをおさえることが必要と思います。(60代男性)

北信濃 江戸時代の風景

(83) 善光寺の北東

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、江戸時代に善光寺門前で売られていた観光案内図「信州川中嶋古跡順道手引草之図」を、少しずつ切り取って紹介します。

善光寺境内

左端に善光寺の本堂と山門の一部が見えています。「皇極天王御建立」とあるのは、最初の本堂は皇極天皇(女帝)によって建立されたと伝えられているからです。

その右に「山神」と書かれた石塔があります。これは現在の本堂を建立した時に、用いた大工道具を埋めて守り神とした道具塚で、護法石と呼ばれています。本堂前の左右にあります、東側のこの石は山王塚と呼ぶのが普通です。

本堂の東には「年神社」が描かれています。これは、実際には本堂の背後(北)にあった歳神堂と呼ばれた神社です。明治時代になって、政府の神仏分離の方針に従って祭神は城山にまつられ、健御名方富命彦神別神社(県社・水内大社)となりました。歳神堂の社殿は、長野市高田中村の守田酒神社に移されて、長野市指定文化財となっています。

「年神社」の右下(南東)に「御供所」があります。これは本尊等へ供える食事を作る、善光寺の台所です。

その右下には「塔場」があります。これは五重塔の建設予定地です。善光寺は中世にあった五重塔を再建するため、回国開帳(全国を巡る御開帳)を行って資金を集めました、幕府から建築許可が



「信州川中嶋古跡順道手引草之図」の一部(国立国会図書館蔵「扶桑探勝図」より)

下りず、断念しました。その後も、善光寺の境内図にはこの「塔場」が記載されています。

その右の「御作夏」（御作事）は、善光寺の営繕をする作業小屋でしょう。

城山

善光寺の東には、雲に囲まれた一角があって、下に「ビシヤモン堂」（毘沙門堂）と書かれています。善光寺東側の城山には、健御名方富命彦神別神社ができる以前は毘沙門堂がありました。景勝地として知られ、大勧進の別荘などもあって、文人たちの集まりなどが行われました。句碑などの石碑が描かれています。

その下には、「見わたせば月の輪後光ふな後光念仏ねぶつのうかむ川中の島」と記されています。これは江戸の狂歌師庭訓舎綾人てい きん しや あやんどの和歌で、この和歌を刻んだ歌碑が、現在も城山の健御名方富命彦神別神社の境内に残っています。

駒形嶽駒弓神社

「年神社」の北側に「コマガタケ」とあって、鳥居と社殿が描かれています。これは長野市上松の地附山中腹にある駒形嶽駒弓神社こま が たけ こま ゆみです。善光寺の奥の院ともいわれ、善光寺と関係の深い神社です。社殿は善光寺本堂を模した撞木造しゅ もく づくりです。善光寺の越年式は12月に行われますが、昔はその時、この神の神馬が善光寺に参籠するといわれていて、神主が木馬を善光寺に届ける習慣がありました。

現在でも毎年2月1日に、善光寺の堂童子がこの神社で注連しめなどを焼く行事が行われています。

ブランド薬師

「コマガタケ」の右に「薬山薬師」とあって、山腹から突き出た堂が描かれています。これはブランド薬師の通称で知られる、長野市浅川あさの八幡神社です。通称ではありますが、国土地理院の地図にも「ブランド薬師」と記されています。「ブランド」は「ブラン堂」などと書くこともありますが、ぶらんこのことだと言われます。「薬山」は、ブランド薬師がある山の名です。

薬師如来が安置され信仰を集めていましたが、



山腹から突き出たブランド薬師の社殿

明治初期の神仏分離によって薬山を離れ、現在は善光寺の光明院に安置されています。

昌禅寺と傾城清水

「薬山薬師」の右に「昌セン寺」とあるのは、上松5丁目の昌禅寺（曹洞宗）です。実際には昌禅寺の方が、ブランド薬師の手前にあります。市内有数の大寺で、近年は紅葉の寺として知られるようになりました。

寺の右にある「ケイセイシミズ」（傾城清水）は、善光寺七清水の1つに数えられています。昔、越後の遊女（傾城）が善光寺に参拝し、帰る途中でこの水を飲んで疲れをいやしましたが、そのまま死んだという伝説があります。

昌禅寺の門前と傾城清水前を通る道は「坂中道」（坂中街道）で、越後と善光寺を結ぶ近道として利用されました。現在も坂中峠（坂中トンネル）が、長野市街地と信濃町を結ぶ最短路として利用されているのはおもしろいことです。

三登山と蚊里田八幡宮

右上の「神戸山」は、長野市と飯綱町との境にある三登山み と やまでしょう。その麓にある「カリダ」と書かれた神社は、長野市若槻東条にある蚊里田八幡宮です。5月の春の例大祭は、奉納相撲なども行われて賑わいます。

8月号は「善光寺の東方」の予定です。

「新型コロナ対策」であれば——
個人の自由の制限は「許される」と思う

男性…86% 女性…90%
10～20代…90% 30～40代…87% 50代以上…87%

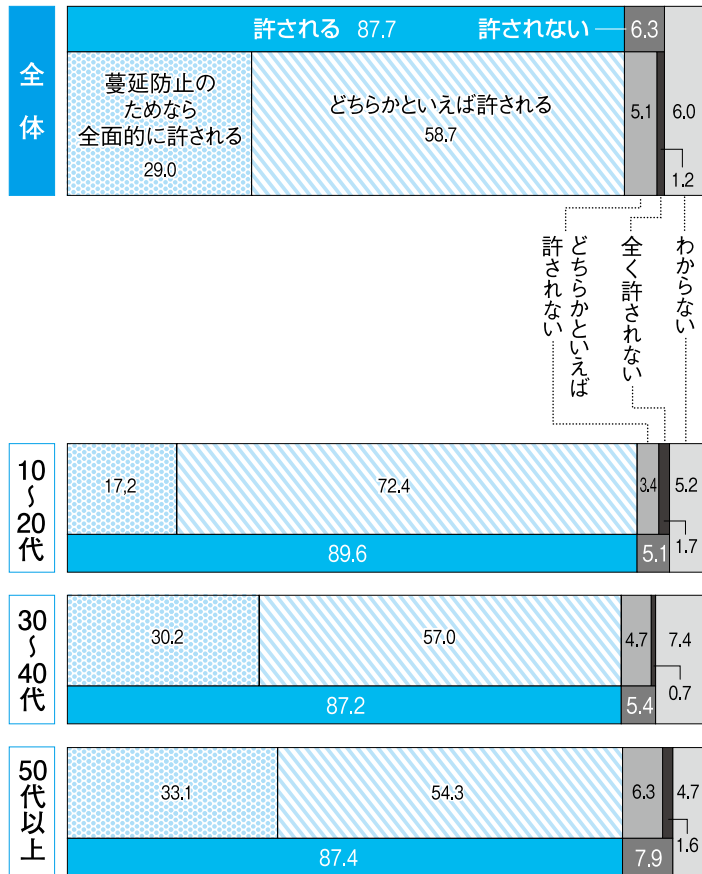
「新型コロナ対策であれば、人の移動や経済活動の制限など、個人の自由が制限されることが許されると思うか」を聞きました。

「蔓延防止のためなら全面的に許される」(29%)と「どちらかといえば許される」(59%)を合わせた「許される」は88%となりました。

他方、「どちらかといえば許されない」(5%)と「全く許されない」(1%)を合わせた「許されない」は6%となりました。

世代別で見ると、10～20代の「許される」90%に対して30～40代と50代以上はともに87%となり、10～20代が一番行動制限を求めているという結果となりました。
〈当金庫・2021年6月調査〉

●新型コロナ対策であれば、人の移動や経済活動の制限など、「個人の自由が制限されることが許される」と思うか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [8月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
8月 3日 火	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	8月 18日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)
4日 水	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	19日 木	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
6日 金	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	24日 火	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
11日 水	長池支店 (大豆島支店)		25日 水	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
12日 木	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	27日 金	本部	
17日 火	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	31日 火	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

